

令和3年度 学校経営方針

I 教育目標「自ら考え、主体的に判断し、行動できる生徒の育成」

1. 目指す生徒の姿・・・グローバル人材の育成

- 自ら学び、仲間と共に学び合う生徒（主体性）
- 未来を生き抜く力を育む生徒（グローバル人材）
- 自らの可能性を信じ挑戦する生徒（チャレンジ精神）
- 相互理解に努め、思いやりのある生徒（コミュニケーション力）
- 地域社会に貢献できる生徒（地域貢献力）

2. 目指す教師の姿・・・教師の心と姿が生徒の心と姿を変える

- 生徒の声に耳を傾け、共に考える教師
- 学びを保障する授業づくりに努める教師
- 心身ともに健康で日々の教育実践に最善を尽くす教師
- 広い教養と専門性を持ち、互いに学び合う教師
- 同僚生を構築し合う教師

3. 目指す学校の姿・・・生徒が主役で、活力に満ちた学校

- 生徒が毎日楽しく登校できる学校(安心して活動できる学校)
- 生徒が主役で活躍し、笑顔と活力に満ちた学校
- 保護者・地域の期待に応え、連携を深めることで信頼される学校
- 教育環境が整備され、温かみのある学校(教師や生徒の知恵が見える掲示物)

II 学校経営の基本方針

1. 安全・安心を基盤とした、生徒一人一人を大切にする全人教育を行う。
2. 学級経営の充実（生徒同士、教師と生徒の温かい人間関係を築く）
3. 生徒の可能性を引き出し、一人一人に寄り添い活躍の場を提供する。
4. 教職員の同僚生を高め、機能的な組織体づくりに努力する。
5. 働き方改革を意識した組織的な対応を検討し、実施する。
6. 地域や保護者との信頼関係を深めながら、地域での活動を拡充し地域社会で貢献できる意欲と能力を育てる。

Ⅲ 学校経営の重点

1. 学力向上を図る。

- ①各教科で生徒が活躍できる場を設定し、努力を評価し知識・技能を習得させる。
- ②学びに向かう姿と意欲を育てるとともに学び合う力を育てる。
- ③家庭学習の習慣化を図る。
- ④日々の工夫や・挑戦で教師が成長する。（教科の本質に迫る授業づくり）

2. 豊かな心の育成を図る。

- ①学年・学級経営の充実（互いが認め合い、支え合い、高め合うことのできる風土）
- ②歌声活動の充実と質の高まり（歌う喜びを感じ、日常的な歌声が響く学校）
- ③道徳教育の推進（全校体制での研究体制の確立・・・「考え、議論する授業」づくり）
- ④美しい環境を創り、美しい心を育てる。
（職員が率先して美化活動を継続的に行う）
- ⑤全教育活動を通じた「いじめ根絶」の推進（予防・再発防止の視点）

3. 活力のある学校づくりを推進する。

- ①安全安心な学校づくり（物的環境、人的環境）
- ②研修の充実と授業改善（初若年の資質向上）
- ③生徒によい習慣を身につけさせる。人間としての魅力を高める。
 - ・よい言葉（気持ちのよい挨拶・返事・感謝の言葉）
 - ・よい行動の習慣化、努力継続の習慣
- ④感動を共有できる学校・学年行事を創り、様々な人々との交流を図る。
- ⑤部活動を活性化させ、個人・集団としての成長を図る。
- ⑥特別支援教育の充実（配慮を要する生徒理解ときめ細かな対応）

4. 教育を核とした地域社会の構築を推進する。

- ①小学校との連携・交流の推進（職員及び生徒）
- ②ボランティア活動の実施（子どもサミット、地域行事への参加）
- ③保護者・地域・関係機関との連携の推進
＜学校支援地域本部「ポラリス」を核とした地域連携＞
- ④地域ボランティア・福祉ボランティア活動の推進（地域から愛される学校）
- ⑤キャリア教育の充実（地域の人材活用、プロフェッショナル人材の招聘）
- ⑥ユネスコスクール推進校としての取組の推進